

## 第2章 基本構想



## 第2章 基本構想

### 1 基本目標

上越市の10年間を見据えた教育を人づくり、地域づくり、未来づくりという視点から、次のように目標を定めました。

- ふるさとを愛し、自己実現を目指す心豊かな人をつくる
- 学びあい、生かしあう中で成長し続ける地域をつくる
- 自立し共生する社会で、一人一人が輝ける未来をつくる

### 2 基本目標の示す内容

#### (1) ふるさとを愛し、自己実現を目指す心豊かな人をつくる

郷土の自然や文化、伝統に接することは、心の奥深いところで人格の形成に影響してきます。物質的に豊かであっても「心の豊かさ」が生まれるわけではありません。自然や文化、伝統に接することで、根源的な自己を支えるよりどころ、生きていく上での基礎となる「根っこ」が形成されます。「根っこ」をもち、多くの人と関わったり地域との結びつきを深めたりする中で、自己実現を目指す「心の豊かさ」を作ることが重要だと考えます。

#### (2) 学びあい、生かしあう中で成長し続ける地域をつくる

地域が学校をつくり、学校が地域をつくっていく関係が求められています。少子化や高齢化などで地域社会が求心力を失いつつある中で、教育に夢をたくして地域社会の形成を考えていくことは重要です。次の時代を形成していくことは教育の本質的な機能であり、その機能を地域がもつことが、地域の成長には欠かせません。地域自らが主体的に成長していくためには、学びあい、生かしあうという姿勢が重要だと考えます。

#### (3) 自立し共生する社会で、一人一人が輝ける未来をつくる

主体的に生きていくことと助け合い、協力して生きていくこととのバランスがとれていないと真の自立や共生は生まれません。時代の変化の中でも確固とした自己判断と自己決定ができる自立心をもつとともに、社会の一員として、他者を理解し、他者の人格を尊重する中で、力を合わせて生きていくことが重要です。一人一人が自立し、共生していくことで、真に豊かで輝かしい未来が生まれると考えます。





していかなければなりません。未来に対して責任をもって見通さなければならない面をもっています。「不易流行」の視点を大切に、教育行政システムを整理するとともに、保持すべきものは保持していく姿勢で、教育行政を推し進めていきます。

④ 多様な学習課題を解決する各種講座を提供する

様々な地域で、多様な学習課題を解決していくために、「ネットワークを活用する」「一つの講座の中で多様な課題に対応する」などの工夫を行い、社会教育主事を中心に講座を開発し提供します。

⑤ 学校、地域、家庭、各団体がスクラムを組む体制づくりをする

地域における住民交流を活性化し、親同士のつながりも密にすることは、子育ての孤立を防ぎ、親としての力を高めていくこととなります。地域の住民交流の場としての機能を学校にも求められています。学校、地域、家庭、各団体が課題の解決に向けて、スクラムを組んでいけるような体制づくりを支援していきます。

⑥ 地域に開かれた特色ある学校づくりを推進する

社会が複雑化し、保護者も地域の事情も大きく変化する中で、子どもたちの学習状況や生活状況も多様化してきています。学校は、地域に根ざし、特色ある学校づくりを行うことが求められています。各学校が、地域の教育力を生かして、開かれた学校をつくっていけるように支援していきます。

⑦ 力量ある教職員等の育成を目指す研修体制を確立する

様々な教育活動を展開する中で、子どもたちの自立と成長を支え、家庭や地域から信頼される教職員や社会教育担当職員となるためには、日々の研鑽と研修による資質能力の向上が常に求められます。一人一人の職員が、もてる力を十分に発揮していくための施策や、支援していくための体制の整備を図っていきます。